

## 成果の説明書

(氏名) 西川静華	(学部) 経済学部
1 重要事項	
【研究活動】	
<ul style="list-style-type: none"><li>● プロスペクト理論を組み込んだ <b>Volunteers' Dilemma</b> の実験研究 早稲田大学の上條教授と共同で行った実験結果を6月の実験社会科学コンファレンスにて発表した。査読付き学術論文雑誌に再投稿するために改訂を進めた。</li><li>● 動学的 <b>Volunteers' Dilemma</b> の実験研究 早稲田大学の上條教授と中川助教と共同で動学的 <b>Volunteers' Dilemma</b> の実験を12月と1月に実施した。残りの実験は令和8年度に実施予定。</li><li>● 公共財の自発的供給に関する研究 以前から引き続き、供給されるためにある一定水準の貢献を必要とする公共財への自発的貢献の研究を発展させ、査読付き学術論文雑誌に投稿する準備を進めた。</li></ul>	
【教育活動】	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 講義：初級ミクロ経済学Ⅰ、Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ 初級ミクロ経済学Ⅰでは毎回 Forms を用いた課題を提出させた。初級ミクロ経済学Ⅱでも同様に毎週の課題を提出させたところ、知識の定着率が高かった。 ゲーム理論では繰り返し演習問題を出し、隔週で課題を提出させ、期末レポートと期末試験を実施した。</li><li>● 基礎演習 ミクロ経済学の教科書を輪読し基礎的な知識を身に着けると共に、時事問題についてミクロ経済学を用いて分析する練習として様々なトピックを用いて討論した。</li><li>● 演習Ⅰ 前期の前半は時事問題について経済学を用いて議論をし、その後に行動経済学の教科書を輪読。またグループごとに一つトピックを選ばせてミクロ経済学やゲーム理論を用いて総括的に分析したものを論文にまとめさせた（中間発表二回、最終発表一回）。</li><li>● 演習Ⅱ 前半は卒論のテーマ選びと就職活動のために時事問題について経済学を用いて議論をし、その後は各自卒業論文の執筆とその発表（中間発表二回、最終発表一回）を行った。</li></ul>	
2 その他の事項	
【学内業務】	
<ul style="list-style-type: none"><li>● 広報室</li><li>● 競争的資金等不正防止推進委員会</li><li>● 教職課程運営委員会</li><li>● 入試課題検討委員会</li></ul>	

## 【社会貢献】

- 群馬地方最低賃金審議会公益委員
- 群馬県大規模小売店立地審議会委員
- 群馬県建築審査会委員
- 財務省財務総合政策研究所の高度理論研修にてミクロ経済学を担当
- 日本経済学会若手研究支援・男女共同参画委員会書記

## 3 次年度以降の計画・抱負

- プロスペクト理論を組み込んだ **Volunteers' Dilemma** を再投稿するとともに、実験手法を再検討し、できれば次年度後半に再実験を行い、データを収集する
- 動学的 **Volunteers' Dilemma** の実験を次年度前半に実施後、結果を学术论文にまとめて学会で発表、査読付き雑誌に投稿する
- より効率的で分かりやすい講義の運営手法を模索する
- 演習の円滑な運営と4年生への丁寧な卒業論文指導に努める